

月刊

アジアの友

MONTHLY The Asia-no Tomo

12

DECEMBER

2009



聖地で触れたヨーガの心 小林陽子

平成 21 年度外国人留学生在籍状況調査結果

～JASSO 統計資料より



2009

12月11日

ABK焼き肉忘年会



新型インフルエンザが猛威を振るった2009年。ABKでもおなじみの年中行事が次々と中止となってしまいました。だから学生たちの焼き肉にかける思い、ではなくて食欲には並々ならぬものが・・・。



2010年は良い年となるように。
たくさん食べて元気な1年を送りましょう！



月刊 アジアの友

2009年12月号 第480号

目次

- 2 巻頭
ヨーガ講師が見たインド
聖地で触れたヨーガの心
- 6 ABK 日本語学校生リレーインタビュー
わたしたち・・・だから日本に留学しました⑤
ムハマド・アクマル・ビン・ジャミルさん
イマン・アミラ・ビンティ・マティサさん
- 9 連載紀行文
写真家・鎌澤久也の メコンのほとりで・・・(第17回)
「デルゲ・パルカン」
- 11 私の意見・私の体験
「日本人よ、もっとフレンドリーに」
ダワードルジ・ムンフズル ～モンゴル
- 12 平成21年度 外国人留学生在籍状況調査結果
- 16 News & Event
- 17 知友会通信 奨学金・イベント情報
- 20 MEMBERS ご入会・ご寄付のご報告(2009年10月・11月)

<表紙作品>

インド、サルナートの住宅
街の小路で遊ぶ子供たち。
カメラを向けるとポーズを
とってくれました。

★表紙作者

小林陽子

(Ms.Youko Kobayashi)

※プロフィールはP2 参照

ヨーガ講師が見たインド 聖地で触れたヨーガの心

小林陽子

ガンジス川の日の出

アジア文化会館でヨーガ教室を開催する小林陽子さん。古代インド発祥の修業法であるヨーガと長年向き合ってきた小林さんだが、インドを訪れたことはこれまで一度も無かったという。その小林さんが10月下旬に初めてインドの地を訪れた。ヨーガを生み出したインドに小林さんは何を感じたのか。お話を聞いた。

こばやしようこ 山梨県生まれ。横浜市在住。大学生時代、ヨーガと出会い、その後、結婚・出産後には整体（調息整体法）とも出会う。長男も成人し、今回念願のインド・ヨーガ研修へ旅立っていました。悠久の大河ガンガーとヨーガの聖地リシケーシュへの旅は魂の故郷とのふれあいのようであり、そしてあどけないこの子供達との出会いは昭和生まれの私にとって、心の故郷との出会いのようでありました。

Yoga 教室 毎週木曜日、18:30～20:30、於・アジア文化会館
お問合せ surya-pavanamukta-no.7@docomo.ne.jp

ヨーガとは・・・

私は昔ダンスをやっていて、昼働いて夜は稽古といった生活を長く続けていました。それは若さに任せて動いていたという感じで、当然そんな生活は長く続くわけがなく、6年ほど経ったころ挫折して、身も心もずたずたになり、以前ヨーガを教わったことのある先生を訪ねて行ったんです。今から30年ほど前のことですが、初めてその先生にヨーガを

教わった時、何かを感じたんでしょうね。何かあったらまたこの先生のもとを訪ねよう、無意識にそう思っていたんです。それからしばらく学芸大にあった先生のヨーガ教室に通うようになり、徐々に心の落ち着きを取り戻して立ち直っていくことができました。

ヨーガを真面目に学んだのはその時からだったのですが、それですぐヨーガに傾倒していったということではなく、その後結婚、出産などを通して、またしばらくヨーガからは離

れた生活をしていました。

本格的にヨーガの世界に入っていったのは、今から12年前。夫が腰痛で苦しんでいたときに、たまたま本で知ったヨーガの先生が整体もやられているということで、訪ねて行ったことがきっかけとなりました。

それからずっとヨーガの世界に身を置いてきたわけですが、ヨーガの本質が楽しいといつから言えるようになったのかはわかりませんし、もちろんまだまだ知らない世界があるのかもそれません。

でも間違いないのは、もう一回入り口に立ってみて自分を取り戻してみる・・・疲れてボロボロになったり、精神的に辛いことがあっても、息を静かにして心を落ち着かせてみると、今起こっていることに翻弄されない、何が起ころうとも揺るがない本体の自分を思い出せる。それがヨーガの目的であり真髄なんだということです。

私自身、いろいろな役割を担っていて、主婦であったり母親であったりするわけですが、その役割が自分そのものになってしまっ



小林陽子先生

ているということがすごく多い。そういった役割のない自分自身を、もう一回思い出しに行くというのが、ヨーガをすることの一番の理由です。

もっと単純に言えば、体がすごく気持ちよくなるとか、居心地が良くなるとか、心が静かになって落ち着くとか、そんな体験ができるのがヨーガなんです。

今、私たちが一般に「ヨーガ」と言っているのは「ハタヨーガ」というものです。ヨーガには沢山の門があり、その中のひとつであるわけです。ヨーガは5000年前には体系が完成していたと言われていますが、その紀元を溯れば1万5000年程前になるのではないかと思います。インダス文明の遺跡からは、瞑想をしている絵が刻まれた石も出てきているそうです。

ヨーガでは、ご存知のように様々なポーズをとるわけですが、この姿勢を「アサナ」といって、これは瞑想をするための姿勢です。足を前に出して瞑想してみようとか、逆立ちしてやってみようとか、様々な瞑想のポーズ



ガンジス川の川岸に立つヨーガ道場



ラージガート

が生まれてきたわけです。

ですから、ヨーガの本当の目的は瞑想をして自分を取り戻す、「自分は誰なのか」ということを探っていくことなのですが、今、街にあるヨーガ教室などは、そこに目標がすべてあるわけではありません。日常の疲れをとるとか、美容・健康を効果に挙げているところもあります。もちろん、それ自体良い悪いということではなく、ヨーガは非常に長い歴史を持ち、奥も深いということです。

そのヨーガ発祥の地であるインドにはもちろん興味はあったのですが、子供が小さかったこともあり、実際に旅するところまではいかず、今回やっと実現したという感じです。

インドで感じたヨーガの心

今回の旅はまさにヨーガ・ツアーだったので、ガンジス川で沐浴したり、ヨーガの生地である北インド（リシケーシュ）のヨーガ道場に2泊して現地の先生の教えを受けたり、その後はお釈迦様の4大聖地の一つであるサルナートと、ベナレスを訪ねるというものでした。

まず、旅全般を通して感銘を受けたのは、

ヨーガそのものに関するよりもインドの空気とか景色についてです。日本にいても、地平線とか水平線のような広々としたところを思い浮かべながら瞑想をするのですが、日本に暮らしていると、そんな景色は日常にはありませんよね。

でもインドの空気や景色を見ると、瞑想とはなんなのか、心に何を思い浮かべればいいのかということが、本当の意味で理解できるんです。インドの空気や景色を体感して、ヨーガで言うところの世界はこれなんだ！ということがわかりました。

デリーのラージガートというガンジー廟がある公園で、私たち日本人がヨーガをやっていたら、たくさんの人が周りに集まって来たのですが、みなさん瞑想をしていると決して邪魔をしない。そこはやはり文化なんだなあと思います。

私はすごく不勉強で、ガンジーのことは詳しく勉強していなかったのですが、そのラージガード公園には“気”というか、清涼で澄んだエネルギーが流れていました。いくつかの場所で、そういったエネルギーを感じた時に、ヨーガの心とはこういうことだったのかと実感できました。



このごちゃごちゃさがインドらしい？

インドという国

私はインドに実質8日間ほどいただけですが、そこには生きる活力がみなぎっていました。運動神経が良くないと生き延びられない。ボーっとしていたら誰も守ってくれないし、道を渡ることもできない。そういう意味での底力というのを感じました。

朝の4時半くらいに朝日を見に行っただけですが、もう起きて働いている人が大勢いるんですね。そして朝日を浴びながらガンジス川で水行している。それを見ていると、これなら元気だろうなあと感じました。

観光客相手の物売りの人たちも、前の晩、夜月を見に行った時にいた人たちが、次の日の早朝にはまた売りに来ている。朝日とともに起き、働く。どんなに断られてもめげずに売ろうとする、その粘り強さも学ぶところがありましたね。

生きていくために毎日が一生懸命な姿は、余計なことを考え、悩まなければならない日本人からすれば、考えさせられるものがあります。「今日生きられた、という感じで生きていけば、自殺を考えたりする人はいないだろうね」と他の参加者とも話しました。一つ売



シヴァ神像の前でポーズをとる小林先生

れて、これで夕ご飯が食べられる。これが人間の基本なんだと。

今回の旅では、日本で今まで学んでいたことの元、“根っこ”を実感できました。ヨーガは長い年月、長い道のりをかけて伝わってくる間にいろいろな変化があったわけですが、その本当の姿は、インドの景色や風景が教えてくれる。そこが一番大きかったですね。

だから帰ってきてから心がすごく静かなんです（笑）。時間がゆっくり流れる感じで、自分はいつものように動き、話しているわけですが、自分の中の時間がすごくゆっくりと動いている、そんな感じがしたんですね。さすがに4日目くらいになると、また元に戻ってきたなと思うのですが、その感覚は忘れられません。

普段、私たちはかなりあくせく暮らしているんだなあということを改めて感じました。

（終）

ABK 日本語学校生リレーインタビュー

わたしたち・・・だから日本に留学しました ⑤



ムハマド・アクマル・ビン・ジャミルさん

(Mr. MUHAMMAD AKMAL BIN JAMIL)

イマン・アミラ・ビンティ・マティサさん

(Ms. IMAN AMIRA BINTI MATISA) ～マレーシア

——— 出身はどちらですか？

イマン：マレーシアのクランタン（Kelantan）州です。

アクマル：僕はマレーシアの真ん中のパハン（Pahang）州の出身です。

——— 日本留学のきっかけを教えてください。

アクマル：マレーシアのペトロナス（国営石油会社）が行っている奨学生の募集に申し込み、合格して日本へ派遣されることになりました。

イマン：私も同じです。ペトロナスの奨学生になると、マレーシア国内の大学のほか、日本、イギリス、フランス、中国、南アフリカなどに留学するチャンスが得られますが、行き先は会社が決めるので、こちらで決めることはできません。

——— 毎年どのくらいの人がこのペトロナス奨学生の試験を受けるのでしょうか。

アクマル：ペトロナスの奨学金のことはマレーシアの高校生なら誰でも知っているくらい有名です。毎年2000～3000人の受験者がいて、実際に

選ばれるのは100～200人と聞いています。

イマン：私たちは5期生ですが、日本には毎年5人くらいずつ派遣されています。

——— 留学先国の希望はありましたか？

アクマル：僕はもともと留学するつもりはなく、マレーシア国内の大学に通うつもりでいました。試験を受けたのは学費にかかる家庭の経済的な負担を減らしたいという思いが強かったからです。ただ、海外に留学するのなら日本へと思っていた。それは姉がよく日本のドラマを見ていたので、日本語を聞いてきれいだな、機会があれば習ってみたいと思っていたからです。

イマン：私は小学生の時からイギリスに行きたくて、それは高校生になってからも変わりませんでした。そしてイギリス留学のための奨学金ももらえることになったのですが、同時にペトロナスの試験にも合格し、その留学先が日本に決まった時は、日本に行くかイギリスに行くかでかなり迷いました。ペトロナスの奨学生は卒業後、ペトロナ

スに最低10年間勤めなければならないのですが、今は雇用が厳しい時代なので、そうしたことも考慮して家族とも相談し、日本を選びました。もちろん日本にはドラマなどを通して以前から親しみを持っていましたが、夢だったイギリスを諦めるということで、私にとってはそれまでの人生で一番厳しい選択でした。

——— 日本語はまったく学んだことがなかったそうですが、不安はありませんでしたか。

アクマル：留学が決まってから、マレーシアで4ヶ月くらい日本語の準備をしました。それに、僕たちは第5期生で、すでに同じ道を歩んでいる先輩がみながうまくいってましたから心配はしていませんでした。

イマン：ペトロナスの奨学生同士はとても仲が良く、普段もパーティーなどをよくやって話していますから、私も心配はありませんでした。

——— 日本に来て初めての感想はどうでしたか。

アクマル：初めて日本に来たのは秋でしたが、すごく寒く感じました。その後冬に入ってから、「こういう寒さが現実にあるの!？」と驚きました。マレーシアでは考えられませんから。

その他に電車の便利さにも驚きました。クアラルンプールにも電車はありますが、時間通りには運行していません。日本の電車は時間通り

来ますし、どこにでも行けます。それに利用者がとても多いということにも驚きました。

——— 日本に来て大変だったこと、良かったことはどのようなことですか。

イマン：まず悲しかったのは、ほかの5期生がみんな男性で女性が一一人だったことです(笑)。それからイスラム教の人はハラール食品*しか食べてはいけなくて、それをどこで買えばいいのかわからず困りました。また、私はお菓子が大好きなんですけど、袋の成分表示が読めなくて、食べていいのかどうかかわからない。先輩もちょうど試験の時で相談できなかったのも、とてもストレスが溜まりました。

日本のいいところは安全なところですよ。マレーシアでは夜間外出する時は父が目的地まで送ってくれていましたが、日本ではそういう心配はいりませんから。

——— お祈りをする場所などで不便は感じたことはありますか？

アクマル：寮や学校にいる時は問題ありませんが、たまに外でお祈りをしなければいけないこともあり、そうした時は少し困ります。お祈り中は中断できませんから、できるだけ誰かとペアになって、一人がお祈りをしている間はもう一人が見張りをするようにしています。場所は他の人に迷惑にならないところ、例えば駅構内のすみなどを利用します。一度、コインパーキングでお祈りしていたら、「止めてくれ!」と注意されたことがありますが、それ以外は特に何かを言われたり、危険を



アクマルさんご家族。マレーシアの自宅で

*ハラール食品・・・イスラム教の戒律にのっとり、食材の種類や畜肉の屠殺方法など、細かい制限をクリアしている食品。



感じたりしたことはありません。

イマン：日本に来て、初めて外でお祈りをする時はちょっと不安で緊張しました。今は慣れたので、他の人の迷惑にさえならなければ、という気持ちです。何か聞かれても、説明すれば日本人は優しいのでわかってくれますから。

——— ABK 日本語学校はどうですか？

イマン：大学の面接に行っても、ABK で学んでいると言うと、「有名な学校ですね」と言われるので嬉しいですね。

アクマル：外国での生活経験や外国語ができる先生も多くいますし、基礎科目には経験豊富で有名な先生も多いので、学校が有名というだけでなく、とても質の高い授業をしてくれてい

ると思っています。

イマン：日本語の授業なんですが、別の国など世界のことをテーマに話しをしてくれたり、本当に先生方の知識は広くて深いので感心します。

——— 大学を卒業後は、お2人ともペトロナスに就職されるわけですが、どんな仕事をしてみたいですか。

イマン：今は会社に日本語ができる人材が少ないそうなので、日本語力を生かして日本の政府や企業と交渉や取引をしてみたいと思っています。

アクマル：僕は研究者になりたいですね。ペトロナスにも研究機関がありますから、そうしたところのスタッフになればいいですね。

——— では後輩にメッセージをお願いします。

アクマル：僕たちはまだ大学で学んでいませんが、ABK 日本語学校に来るだけでもすごくいい経験ができると思います。問題は、日本での生活にはお金がかかることや、僕らのように先輩が身近にいない人の場合は、ハラル食品をどこで買えばいいのかわからないなど、来日してから慣れるまでが少し大変かもしれません。ですから学校にイスラム系の人をサポートするシステムなどがあればいいですね。

イマン：マレーシアのマレー系の方は漢字を勉強したことがないので、日本語を習得するのは無理だと思うかもしれません。でも私にとって日本語の勉強は楽しく、まったく無理には感じません。楽しみながら努力をすれば、自分のものにするのは難しいことではないと思います。友達には英語の通じない国で勉強することは現実的ではないと考える人もいますが、私からしたら母国語や英語以外の言語ができれば、それは自分の魅力、武器になるから、そちらのほうがいい。今は自信を持ってそう言えます。

——— ありがとうございました。大学に進学後もがんばってください。



ABK 秋祭に集まったペトロナス奨学生たち

写真家・鎌澤久也の

メコンのほとりで..

十七、デルゲ・パルカン

デルゲという町がある。漢字で「徳格」と書きチベット語である。そのデルゲはチベット自治区と接する四川省側に位置し、中央を川が流れる溪谷に開けたところだ。家屋は麓から斜面にかけて折り重なるように建ち、上部にチベット寺院とデルゲ・パルカンが建っている。パルカンは印経院のことである。

デルゲは清の時代「デルゲ王国」として半独立国を維持していた。といっても当時チベット政府の手の届かないところでは小王国が群雄割拠していたので、王国といってもそれほど珍しいものではなかった。この町に300年間変わらぬ方法で、チベット仏教の經典を刷り続けているパルカンがある。

パルカンは3階建てで、訪れると入ってすぐ右側の部屋は、經典を刷る紙を裁断するところで、正面の部屋は仏像が安置された経堂だった。そして2階にあがる急な階段をのぼっていくと、せわしなく動く人々の床を擦る靴音に混ざり、サツサツという音やガチャガチャという音が聞こえてきた。それは木版や紙を動

かすときに生じる音だった。

薄暗い部屋では20人ほどの人たちが2人1組となって、黒のインクで黙々と經典の印刷作業にかかっていた。見ていると息使いと体の前後運動でリズムをとり、脇目もふらず、仕事にいそしんでいる。「なぜそんなに一生懸命働くのです

教は発展を遂げた。そしてデルゲはその經典を刷る寺として知られ、巡礼者も多いのである。

チベットには、かつて經典を印刷する寺が各地に存在していた。なかでも「三大印刷所」といわれたのがラサのポタラ宮と、シガツェ（日喀則）のナルタン寺、そしてデルゲのパルカんだ。前

2者は文化大革命で再起不能デルゲだけが僧侶の抵抗で奇跡的に難を逃れた。現在、デルゲの寺院に収蔵されている木版は約30万枚。しかし、長いあいだに磨耗し、彫り替えが必要だとわかりつつも、多大な費用がかかるため、ままならない状態だという。1枚1枚、手で刷りあげてこそ意義のある經典は、春から秋にかけて印刷され、寒さの厳しい冬は、インクが凍るのでやらないそう。



か」と聞くと、「ノルマがあるからさ」と、彼らは手を休めることなく答えた。別のところでは、年配の男性たちが布に絵柄のあるものを刷っていた。こちらはそのんびりしたものだ。朱色で印刷しているところもあったが、数からいえば圧倒的に黒が多い。

そもそも經典とは梵語仏典のチベット語への翻訳で、これによってチベット仏

〈写真〉夏の間だけ經典の印刷に勤しむ人々。この仕事はチベット人にとつて憧れで応募者も多いのだという。だから選ばれた人たちは誇りを持って働いている。

かまざわきゅうや・・・(社)日本写真家協会(JPS)会員、駒澤女子大学非常勤講師

中国雲南省を中心にアジアを撮り続ける。近年はメコン川、長江など、川をテーマにそこに暮らす人々に焦点を当てている。「メコン街道」など写真展を多く開催。著書に『雲南最南部への旅』(めこん)、『メコン街道』(水曜社)等

高校時代。勉強を教えていた孤児院の
子供たちが高校で踊りを披露しました

●勉強しない日本人大学生

日本留学を実現できた私の次の夢は、モンゴルに環境に優しく家族と一緒に幸せに暮らせる住居を作りたいというもので、今は群馬大学の建設工学科で学んでいます。日本に来る前はモンゴルの国立大学にも短期間所属していましたが、群馬大学の施設はモンゴルの大学と比較して、とても充実しており、図書館の本の種類も本当に幅広く様々なものが揃っていて感心します。ただ残念なのは、そんな恵まれた環境なのに肝心の学生達がそれを利用していないことです。

授業も真面目に受けている学生はほんのわずかという感じで、がっかりしました。ただ、勉強はしないのに、部活やサーク

ルでは違う人間のように生き生きと一生懸命やる。先生に対してはいい加減な態度なのに、先輩に対しては「はい、先輩!」「ありがとうございます!」と、とても元気で礼儀正しい。本当に、日本の若者是不思議で理解できません(笑)。

●日本人はもっとフレンドリーに

モンゴルの学校では外国人留学生在っていると、みな積極的にサポートしてあげようという感じになりますが、日本人はこちらから聞かないと何もしてくれません。うちの学科は60人のクラスの中で女性はい人だけです。もしかすると恥ずかしいのかもしれませんが、やはりモンゴル人と比べると日本人はフレンドリーではありませんね。それは日本で学んでいて一番寂しいと感じるところです。

大学入学前に学んだABK日本語学校では、様々な国のみんなと仲良くなって、こんな感じで大学生活も送れるのかなと思っていたので、そんな大学の雰囲気にはショックでした。

だからがんばればいくらでも知識は得られるけど、日本人の友達作りは難しい。今はバスケット部とダンスサークルに所属していて、それぞれ活動は楽しいのですが、まだ

まだ友人と呼べる人は2、3人しかいません。ら、もっともっと積極的に日本人の中に入っていき、日本語を磨いて、友達を増やしていきたい。それがこれからの目標ですね。

今、日本で学んで2年が過ぎようとしていますが、本当に、日本に来て良かったと思っています。もちろん後輩達にも日本語を勧めます。だけどモンゴルと違うのは1人ぼっちになってしまう可能性もあるということ。そんな覚悟は必要ですね。

そして一番大切なのは、できるだけ日本語の力を付けてくること。日本に来れば自然に上達する・と考えるのは大きな間違いで、いくら勉強しても足りないくらい、日本語の能力は必要です。たくさんの知識、たくさんの友達を得るために。

高校時代。クラスメートと。
制服も日本風?



日本人よ、もっとフレンドリーに

ダワードルジ ムンフズル (Ms. DAVAADORJ MUNKHZUL)

群馬大学 工学部 建設工学科1年生

●日本式高校から日本へ

私がモンゴルで通っていた新モンゴル高等学校（高校）は、日本のスタイルを取り入れた高校で、他のモンゴルの高校（2年制）とは違い3年制でした。また、日本のように制服を着て学校に通い、部活動もありました。

校長先生は日本の高校のカリキュラムや教科書に興味を持ち、東北大学で高等学校のカリキュラム開発などを学んだ方です。ご家族を連れて留学され、苦勞して勉強をされた当時の先生の夢は、高度な日本の学習レベルと豊かな心の育成に重点を置いたモンゴルの教育を融合させた日本スタイルの高等学校をモンゴルにつくることだったそうです。そして今から約10年前日本の様々な方々の応援もあって、この日本スタイルの高校を創設したそうです。

創設当初は30人ほどしかいなかった生徒も、現在は750人ほどになり、昨年からは小学校と中学校も併設されました。

現在新モンゴル高校は人間形成や学業など様々な面で、モンゴルで最も優秀な学校としての評価を受けています。

新モンゴル高校では英語とともに第二外国語で日本語を勉強していますが、毎年日本の文部



科学省の奨学金や、民間財団の奨学金などを利用して、30人以上が留学生として日本に来ています。私も財団の奨学生試験に応募し、合格して日本に来ることが出来ました。

私は子供の頃から海外に留学したいと思っていましたが、それと同時に日本への興味も持っ

ていましたから、留学するのなら日本に行きたいと思っていました。

そのきっかけとなったのは子供の頃に見たテレビドラマ「おしん」です。おしんが様々な困難を乗り越えて成長していく姿や、彼女を支える優しい人々、そして美しい日本の田舎の風景が私の心に焼き付いて、日本は素晴らしい国、という印象を持ちました。それから他の日本製ドラマや漫画などにも興味が広がり、また、日本人ボランティアの方には将棋を教えてもらい、日本への興味はどんどん深いものになっていきました。

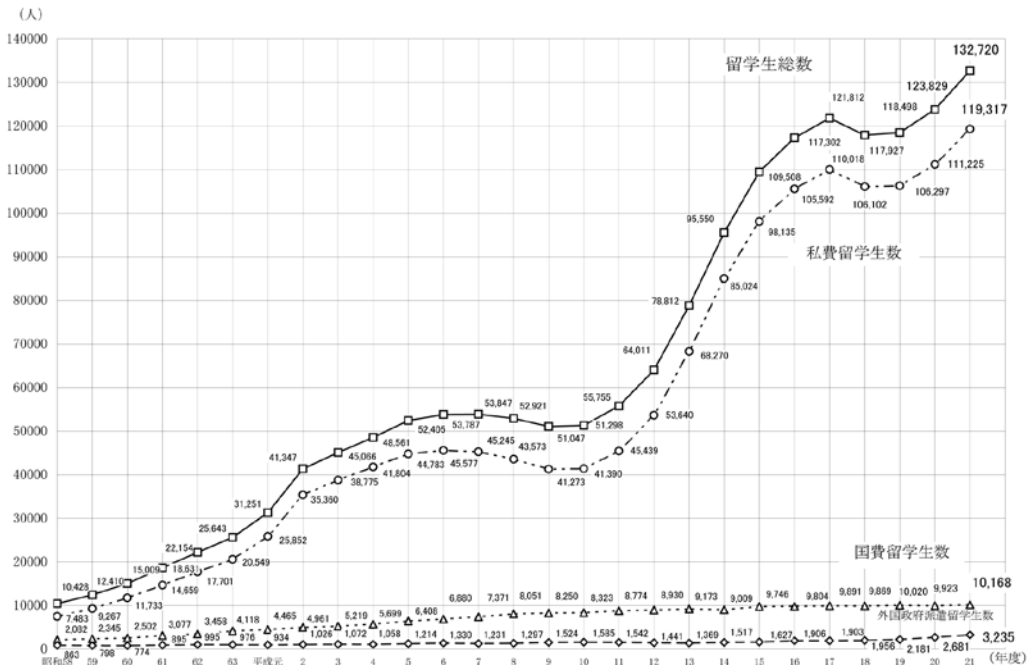
ですから留学と日本、その両方の夢を実現させるために私は新モンゴル高校に入学したのです。



平成21年度 外国人留学生在籍状況調査結果

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）統計資料より

1. 留学生数の推移（各年5月1日現在） （前年比 8,891 人（7.2%）の増加で過去最高）

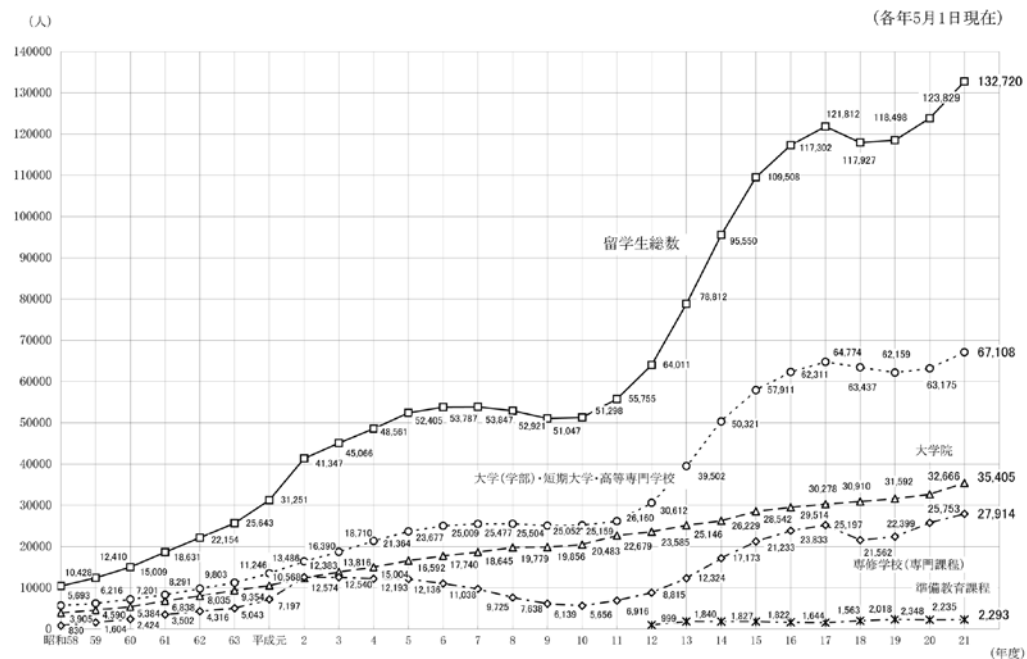


日本学生支援機構は、毎年恒例の外国人留学生在籍状況調査結果を発表した。同調査によると、留学生数は過去最大の132,720人に達した。2005年からの2年間は法務省の入国審査厳格化などの影響により減少に転じた留学生数だが、2007年より再び増加に転じ、順調にその数を伸ばしてきている。

経済不況による減少が心配されていた韓国留学生数も前年を上回り、ほとんどの国からの留学生数が前年度を上回り過去最高の数字となった。

もちろんこの数字達成に大きく貢献しているのは前年比6,316人増となった中国人留学生だ。飛躍的ともいえる経済発展の中、一人っ子政策のもと、大切に育ててきた我が子が海外に学ばせる親は今後も増え続けるだろう。その行き先はアメリカ、イギリス、オーストラリアといった英語圏の国が人気だが、第4の候補地として人気の日本への留学生もしばらくは増加の一途を辿るはずだ。そうした中、いかに優秀な学生の割合を増やしていけるかが課題となるが、個々の大学の努力はもちろん、政府はその呼び水となる魅力ある留学生政策をとっていく必要がある。09年末に行われた事業仕分けにより、留学生関連予算はおよそ3割カットされた。今後は限られた予算をいかに有効に使い、欧米にはない日本留学のメリットを広くアピールしていけるか、関係者の手腕が問われるところだ。

2. 各学習機関における留学生数の推移



3. 出身地域別留学生数

地域名	留学生数	構成比	左のうち短期留学生	
			留学生数	構成比
アジア	122,464人 (114,189)	92.3% (92.2)	7,223人 (5,915)	62.6% (60.6)
欧州	4,033人 (3,819)	3.0% (3.1)	1,928人 (1,770)	16.7% (18.1)
北米	2,575人 (2,343)	1.9% (1.9)	1,863人 (1,584)	16.1% (16.2)
アフリカ	1,159人 (1,084)	0.9% (0.9)	63人 (44)	0.5% (0.5)
中南米	1,050人 (1,008)	0.8% (0.8)	144人 (118)	1.2% (1.2)
中近東	923人 (842)	0.7% (0.7)	63人 (55)	0.5% (0.6)
オセアニア	516人 (544)	0.4% (0.4)	262人 (270)	2.3% (2.8)
計	132,720人 (123,829)	100.0% (100.0)	11,546人 (9,756)	100.0% (100.0)

()内は平成20年5月1日現在の数

4. 専攻分野別留学生数

専攻分野	留学生数	構成比
人文科学	32,954人 (29,189)	24.8% (23.6)
社会科学	50,620人 (48,259)	38.1% (39.0)
理学	1,694人 (1,526)	1.3% (1.2)
工学	20,713人 (19,511)	15.6% (15.8)
農学	2,934人 (2,887)	2.2% (2.3)
保健	2,877人 (2,768)	2.2% (2.2)
家政	2,898人 (2,772)	2.2% (2.2)
教育	3,045人 (2,981)	2.3% (2.4)
芸術	4,130人 (4,006)	3.1% (3.2)
その他	10,855人 (9,930)	8.2% (8.0)
計	132,720人 (123,829)	100.0% (100.0)

()内は平成20年5月1日現在の数

5. 出身国（地域）別留学生数

国(地域)名	留学生数	構成比	国(地域)名	留学生数	構成比
中国	79,082人 (72,766)	59.6% (58.8)	ドイツ	450人 (479)	0.3% (0.4)
韓国	19,605人 (18,862)	14.8% (15.2)	イギリス	427人 (400)	0.3% (0.3)
台湾	5,332人 (5,082)	4.0% (4.1)	カナダ	345人 (319)	0.3% (0.3)
ベトナム	3,199人 (2,873)	2.4% (2.3)	ブラジル	336人 (331)	0.3% (0.3)
マレーシア	2,395人 (2,271)	1.8% (1.8)	オーストラリア	331人 (347)	0.2% (0.3)
タイ	2,360人 (2,203)	1.8% (1.8)	エジプト	329人 (320)	0.2% (0.3)
アメリカ	2,230人 (2,024)	1.7% (1.6)	ロシア	304人 (315)	0.2% (0.3)
インドネシア	1,996人 (1,791)	1.5% (1.4)	カンボジア	300人 (287)	0.2% (0.2)
バングラデシュ	1,683人 (1,686)	1.3% (1.4)	ラオス	285人 (276)	0.2% (0.2)
ネパール	1,628人 (1,476)	1.2% (1.2)	サウジアラビア	253人 (184)	0.2% (0.1)
モンゴル	1,215人 (1,145)	0.9% (0.9)	ウズベキスタン	223人 (205)	0.2% (0.2)
ミャンマー	1,012人 (922)	0.8% (0.7)	イラン	218人 (216)	0.2% (0.2)
スリランカ	934人 (1,097)	0.7% (0.9)	スウェーデン	182人 (155)	0.1% (0.1)
フランス	624人 (574)	0.5% (0.5)	トルコ	167人 (171)	0.1% (0.1)
インド	543人 (544)	0.4% (0.4)	その他	4,204人 (3,981)	3.2% (3.2)
フィリピン	528人 (527)	0.4% (0.4)	計	132,720人 (123,829)	100.0% (100.0)

()内は平成20年5月1日現在の数

6. 在学段階別・国公立別留学生数

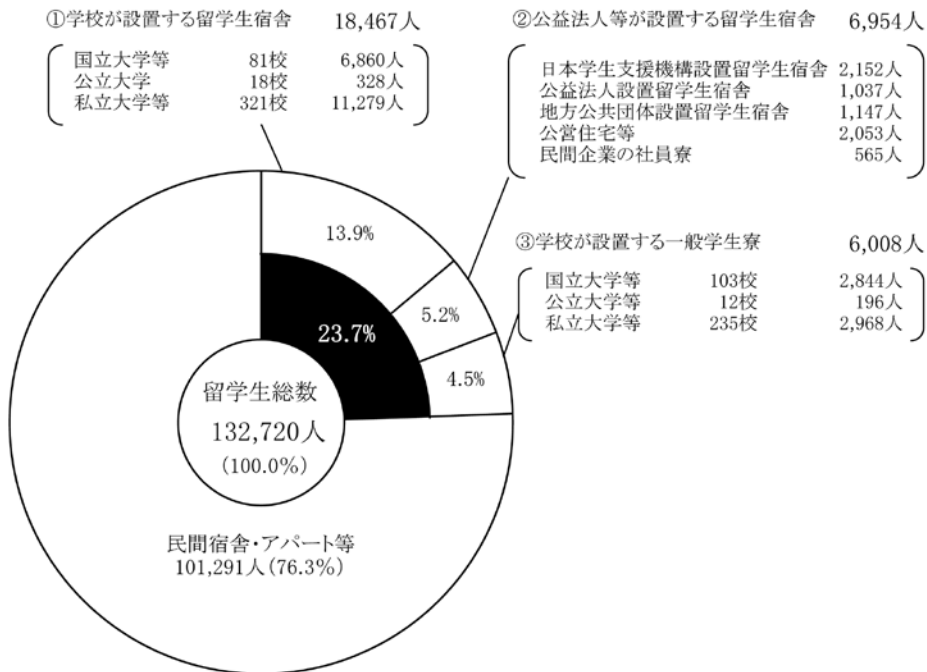
		国立		公立		私立		計	
		留学生数	構成比	留学生数	構成比	留学生数	構成比	留学生数	構成比
在 学 段 階	大学院	21,884人 (20,247)	61.8% (62.0)	1,493人 (1,316)	4.2% (4.0)	12,028人 (11,103)	34.0% (34.0)	35,405人 (32,666)	100.0% (100.0)
	大学 (学部)	9,907人 (9,674)	15.4% (16.0)	1,313人 (1,302)	2.0% (2.2)	53,107人 (49,544)	82.6% (81.9)	64,327人 (60,520)	100.0% (100.0)
	短期大学	0人 (2)	0.0% (0.1)	5人 (5)	0.2% (0.2)	2,219人 (2,110)	99.8% (99.7)	2,224人 (2,117)	100.0% (100.0)
	高等専門 学校	472人 (462)	84.7% (85.9)	0人 (0)	0.0% (0.0)	85人 (76)	15.3% (14.1)	557人 (538)	100.0% (100.0)
	専修学校 (専門課程)	0人 (0)	0.0% (0.0)	8人 (9)	0.03% (0.03)	27,906人 (25,744)	99.97% (99.97)	27,914人 (25,753)	100.0% (100.0)
	準備教育 課程	0人 (0)	0.0% (0.0)	0人 (0)	0.0% (0.0)	2,293人 (2,235)	100.0% (100.0)	2,293人 (2,235)	100.0% (100.0)
	計	32,263人 (30,385)	24.3% (24.5)	2,819人 (2,632)	2.1% (2.1)	97,638人 (90,812)	73.6% (73.3)	132,720人 (123,829)	100.0% (100.0)

()内は平成20年5月1日現在の数

7. 留学生宿舍の状況（平成21年5月1日現在）

○留学生総数 132,720人（前年度比 8,891人増）

○公的宿舍入居留学生数 31,429人（前年度比 1,283人増）



News & Event

ワン・ワールドフェスティバル（大阪）

ワン・ワールド・フェスティバルは毎年開催される国際協力のお祭りで、「共に生きる世界をつくるために～一人ひとりができること」をテーマに関西を中心に国際協力に携わっている NGO/NPO、国際機関、自治体、企業などが一堂に会し、府民に広く国際協力の大切さを認識してもらうために、活動紹介展、シンポジウム、パネルディスカッションなどを実施するものです。OFIX では毎年ワン・ワールド・フェスティバルで事業紹介ブースを出展するほか、OFIX の奨学生が母国について紹介する「世界ウォーカー」というプログラムを企画しています。

<日時> 2010年2月6日 10:00～17:00 2010年2月7日 10:00～16:00

<会場> 国際交流センター（大阪市天王寺区上本町 8-2-6（地図））

<入場料> 無料。申込不要

<お問合せ> ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会事務局

〒552-0021 大阪市港区築港 2-8-24 pia NPO2 階

ワン・ワールド・フェスティバル専用 ☎ 080-6130-260 ☎ 06-4395-1124 FAX 06-4395-1125

E-mail: onefes@interpeople.or.jp URL: <http://www.interpeople.or.jp/owf/>

国際化市民フォーラム in TOKYO「多文化共生のまちづくりへ向けて」

外国籍の外国人の定住化が進み、総人口の 3.2% を外国人が占める東京。グローバル化する東京が抱える問題点や課題、国際協力のあり方などを都民・外国人都民の皆様とともに考え、多文化共生のまちづくりを進めるための一助とします。

<開催日> 平成 22 年 2 月 20 日（土）10:00～16:00（受付 9:30～）

<場所> 東京ウイメンズプラザ（東京都渋谷区神宮前 5-53-67）

<定員> 各分科会 50 名

<主催> 東京都国際交流委員会 国際交流・協力 TOKYO 連絡会

<問合せ先> 「国際化市民フォーラム in TOKYO」事務局 ☎ 03-5320-7740 Fax 03-5388-1331

第 84 回 帯津良一先生講演会（東京）

<テーマ> がんは友達 Part7 自力と他力～私の出会った養生の達人たち Part2

<日時> 2010 年 1 月 21 日（木）19:00～20:30（開場時間 18:30）

<会場> アジア文化会館（ABK）101 研修室（地下 1 階）

<講師> 帯津良一先生

<参加費> 3,000 円

<問合せ / お申込先>（財）アジア学生文化協会 帯津良一先生講演会担当まで

☎ 03-3946-4121（代） Fax 03-3946-7566 E-mail asca50com@abk.or.jp



奨学金情報

■サト一国際奨学財団

対象: ①バングラデシュ、ブータン、ブルネイ、カンボジア、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、モルジブ、ミャンマー、ネパール、パキスタン、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、東ティモール、ベトナムから来日し、文部科学省所轄の大学の学部または大学院に在籍する当該国の国籍を有する私立留学生 ②他の奨学支援団体等から奨学金に類する金品を受給していない者 ③在留資格「留学: college student」を有すること ④国際理解と親善に関心を持ち、財団の交流会に必ず出席できること ⑤日本で就業している親がいないこと ⑥「博士」の学位を取得していないこと ⑦現在在籍している課程の在籍期間が2010年4月より1年以上あること。(ただし大学院博士課程についてはこの限りではない)

給付金額: (学部生) 月額12万円、(大学院生) 月額18万円

給付期間: 2010年4月から2012年3月までの2年間

採用人数: 10名前後

応募: 在籍する大学の留学生課を窓口として、応募書類を募集期間内に留学生課から財団宛に郵送にて提出すること。

募集期間: 1月18日(月)～1月22日(金)

団体連絡先: 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1丁目3番1号 朝日生命恵比寿ビル11階

☎03-5789-2190 URL <http://www.sisf.or.jp>

■野村国際文化財団外国人留学生奨学制度

対象: ①指定大学の修士・博士課程に在籍し人文科学、社会科学の修学を目的とする留学生

②国費および月額5万円を超える併給不可

③応募時の年齢35歳まで

指定大学: 東京大学・一橋大学・京都大学・大阪大学・慶応義塾大学・早稲田大学

給付金額: 月額15万円

給付期間: 2年間

新規採用: 10名程度

募集期間: 1月25日(月)必着

応募: 必要書類を財団事務局まで郵送(持ち込み付不可)

必要書類は下記Webサイトからダウンロード、または指定大学の担当窓口(請求)

連絡先: 〒103-0027 東京都中央区日本橋1-9-1 (財)野村国際文化財団

☎03-3271-2330

URL: <http://www.nomuraholdings.com/jp/bunka-zaidan/index.html>

おかもとこさいしょうがくこうりゅうざいだん
■岡本国際奨学交流財団

たいしやう 対象：2010年4月1日時点で ①千葉県内の大学に在籍、または千葉県内に在籍で県外の大学に通う私費留学生 ②学部4年生が大学院生（進学確定の場合、応募時研究生可） ③他の奨学金（学部生50000円、大学院生70000円以上）の併給不可 ④配偶者が国費留学生、自国政府・機関派遣生または日本国内で就 職している場合は応募不可 ⑤月例会に毎回出席し、財団行事や地域交流活動にも参加できる者
 給付金額：月額8万円

給付期間：2010年4月から2011年3月までの12ヶ月間
 採用人数：20名以内
 応募：本人が直接申込み。申請書はホームページからダウンロード可

募集期間：1月29日（金）17:00 締切（必着）
 連絡先：263-0023 千葉県市稲毛区緑町1丁目19番11号 ☎043-248-8808

e-mail: osf-midori1911@coda.ocn.ne.jp

URL <http://www.osf-family.com/>

E-mail kif-info@kyoritsugroup.co.jp

いちはらくさいしょうがくざいだん
■市原国際奨学財団

たいしやう 対象：①愛知県内の大学の学部、大学院に正規生として在籍する留学生 ②他団体からの奨学金を受けていないもの
 給付金額：月額5万円
 給付期間：2010年4月より1年間（多年度にわたる更新可）
 応募：大学推薦。2月10日締切
 新規採用：35名
 問合せ先：所属大学の担当窓口

主催団体連絡先：〒453-0843 名古屋市中村区鴨付町1-22 大一美術館内事務局
 ☎052-413-6777
 URL <http://www.ichihara-isf.or.jp/>

じやうほう
イベント情報

りゅうがくせいしゅうしよくしえん こんしんかい
留学生就職支援OB・OG懇親会

だい かい き はな にほん しゅうしよく
第1回 聞いてみよう、話してみよう、日本での就職

1. 日本で働く先輩留学生の体験談・働いて感じる本音を聞く会

2. 少人数グループによる先輩留学生との交流会

<日時> 2010年2月13日（土） 13:30～16:30

<受付> 13:00より

<場所> 東京 YWC A 会館 カフマンホール

<参加費> 無料

<申込> <http://www.tokyo.ywca.or.jp/ryugakusei/undo-info.html>

<主催> 東京 YWC A 「留学生の母親」運動 留学生就職支援 OB OG 懇談会

＜問合せ＞ ^{といあわ}東京YWCA「^{どうきょう}留学生の^{りゅうがくせい}母親^{ははおや}」

^{ちよだくかんだするがだい}
〒101-0062 千代田区神田駿河台1-8-11 ☎03-3293-5424

IFSA 留学生就職フォーラム開催案内

＜内容＞ ・留学生を積極的に採用する優良企業が多数参加する、合同企業説明会です。

・会社説明や、簡単な面接をする企業も一部あります。

＜対象＞ ・就職希望の外国人留学生

※参加企業の多くは、2011年新卒の人を募集対象としています。2010年3月卒業予定の人、既卒・転職希望の人にも募集対象となるかは、企業によって異なります。

【第1回 大阪フォーラム】

＜日時＞ 2010年3月4日（木）13:00～18:00

＜会場＞ 大阪国際交流センター「大会議室・さくら」

＜共催＞ 財団法人 大阪国際交流センター

＜交通＞ 地下鉄「谷町九丁目」駅徒歩7分、近鉄「大阪上本町」駅徒歩5分

【第1回 東京フォーラム】

＜日時＞ 2010年3月15日（月）13:00～18:00

＜会場＞ 北とびあ「展示ホール」

＜交通＞ 東京メトロ南北線「王子駅」5番出口直結、JR京浜東北線「王子」駅北口徒歩1分

＜参加申込＞ <http://www.ifsajp/index.php?shushokuforum>

第17回 留学生スキー & スノボ交流会

この会には毎年いろいろな国から来ている留学生や日本人の若者が多く参加し、ウェインタースポーツやパーティーを通じて有意義な国際交流がおこなわれています。日本での大切な思い出となるだけでなく、たくさんの新しい友達ができる絶好のチャンスです。スキーやスノボが上手な人も初めての人も思いきって参加してみてください。

＜日程＞ 2010年2月28日（日）～3月3日（水）

＜スキー場/宿泊施設＞ 雪だるま高原 キューピットバレイ（新潟県上越市安塚区須川）

＜参加費＞ 29,800円

＜締切り＞ 2010年2月22日（月）

＜問合せ＞ NPO 法人 国際青少年交流協会

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-33-5 タケトモビル2F

☎03-6681-6591 FAX 03-5292-4866 E-mail info@kokusaikoryu.com

＜詳細情報＞ <http://www.kokusaikoryu.com>

「第 29 回 からいも交流・春」参加者募集のご案内

からいも交流とは、鹿児島・宮崎の普通の家庭で、2 週間、家族として生活するホームステープログラムのことで、家族や地域の人々との交流や、学校訪問、労働体験等を通じて、家族の一員になっていきます。「からいも交流」は、皆さんが家族の一員となってホストファミリーの仕事を手伝ったり、生活をともにする中で、観光旅行では得られない、本当の相互理解をし、生涯の友人を作る手助けをします。

＜交流期間＞ 2010 年 3 月 14 日（日）～ 3 月 28 日（日）

＜申込締切＞ 2010 年 1 月 29 日（金）必着

＜参加対象＞ 日本国内の大学・専門学校・日本語学校等に在籍する 18 歳以上の学生

＜内容＞ 鹿児島・宮崎の家庭での、2 週間のホームステープログラム

＜目的＞ 日本の地方の日常生活を体験し、生活や作業を共にする中で、国際相互理解を深める。

＜問合せ＞ NPO 法人 からいも交流

〒 893-0131 鹿児島県鹿屋市上高隈町 3811-1 ☎ 0994-45-2718 Fax 0993-52-7119

URL <http://www.karaimo-k.com/>

MEMBERS

＜ご入会とご寄付の報告＞

2009 年 10 月

賛助会員

（株）ナカノフード建設 千代田区

正会員

（1 口）

柳瀬修三

奥山 節子

佐藤 和江

佐倉市

西村山郡

日野市

ご寄付

栗原 静子

高畑 怜

細川 武

気仙沼市

北区

所沢市

2009 年 11 月

正会員

（2 口）

柳瀬修三

（1 口）

小野里 光博

福井 道子

タイ

文京区

豊橋市

中島 明彦／絢子

二村 美朝子

近山 武子

鈴木 八重子

堤 祐子

横須賀市

練馬区

横浜市

志木市

江東区

ご寄付

栗原 静子

近田 研

山口 憲明

気仙沼市

愛知郡

日野市

今月もみなさまの
ご協力に感謝申し
上げます。

ご入会とご寄付のお願い

当協会は、政府の補助金を受けていない純民間運営の公益法人です。財源に限りがあり、皆様方からお送りいただく会費、寄付金は、本協会の活動を支える貴重な財源となっています。何卒ご理解、ご協力をお願い致します。

協会のあらまし

名 称：財団法人アジア学生文化協会

ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION

(ASCA)

所在地：東京都文京区本駒込2丁目12番地13号

代表者：理事長 小木 曾 友

設 立：1957年（昭和32年）9月18日

故郷積五一氏創設

目 的：日本とアジア諸国の青年学生が共同生活を通じて、人間的和合と学術、文化および経済の交流をはかることにより、アジアの親善と世界の平和に貢献することを目的とする。

◆主な事業◆

- (1) 留学生宿舍の運営
- (2) 留学生日本語コースの運営（進学希望者向けの日本語を中心とする教育）
- (3) 留学生に対する情報提供支援
- (4) アジア語学セミナー、タイ語検定試験の開催
- (5) 帰国留学生のアジア文化会館同窓会、(社)日・タイ経済協力協会、ABK留学生友の会との連携・協力

◆会費（年額）◆

正会員 1口 1万円

賛助会員 1口 5万円

特別会員 1口 10万円

会員には広報誌「月刊アジアの友」が無料配布されます。また、広報誌購入だけを希望される方には、購読料年間3千円（学生2千円）でお送りしています。

本誌で広告してみませんか。

団体・企業を問わず、編集部へご相談ください。

日本留学生活に必要な最新のニュースを
毎月届けます！

ABK留学生メールニュース

ビザ手続き関連情報 医療・保険情報
就職アルバイト情報 イベント情報
各種試験情報 奨学金情報
外国人相談情報 他

登録はWEBから

<http://www.jpss.jp>

月刊 アジアの友 2009年 12月号

2009年12月10日発行（通刊第480号）

年間購読（送料共）3,000円（学生2,000円） 1部 300円（税込）

発行人 小木 曾 友
編集 月刊アジアの友編集部
発行所 財団法人 アジア学生文化協会
東京都文京区本駒込2-12-13 (☎113-8642)
電話番号：03-3946-7565/4121 ファクシミリ：03-3946-7599
振替口座：00150-0-56754 E-mail：tomo@abk.or.jp
ホームページ：(<http://www.abk.or.jp/>)

published by ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION
(ASIA BUNKA KAIKAN)
2-12-13, Honkomagome, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8642, JAPAN
☎+81-3-3946-7565/4121 ☎+81-3-3946-7599
Email：tomo@abk.or.jp
Home Page：(<http://www.abk.or.jp/>)

「月刊アジアの友」の購読会員（年3,000円・学生2,000円）にご入会下さい。振替用紙又は電話等にて。

私費外国人留学生のための 大学入学案内

2010年度版

私費外国人留学生のための 大学入学案内

日本留学試験のデータも充実
全国581大学・短期大学の入試のすべてがわかる
いきたい大学がすぐ探せる“学部・学科インデックス”

留学生の大学選びは

この一冊にお任せ下さい！

2010年度版好評発売中！

編集・発行：(財) アジア学生文化協会 発売：凡人社 ￥2,000 + 税

お問合せ：☎ 03-3946-7565 E-mail hoshi@abk.or.jp